

ニーズの概要

バルンチューブが巻き込まれない車椅子

現状の課題

患者さんを搬送する時に、車椅子の肘置き部分やサイドのフックなどにウロガード（排尿袋）をぶら下げますが、ウロガードの位置や高さによる感染の問題もありますし、タイヤに擦れたり、チューブが巻き込まれることがあります。チューブ類のある患者さんの搬送は、チューブトラブルの懸念があり、看護助手さんに依頼しにくい内容でもあります。また、看護師が注意していても慌てたりすることで同様にトラブルの可能性があります。看護助手の搬送介助への心理的負担軽減、チューブトラブルの回避に何らかの対応が必要です。

ニーズ

車椅子の座面の下にネットなど（車椅子の折りたたみが可能な柔らかい素材）を装着し、患者さんの股からネットにウロガードを置くとタイヤ巻き込みや体とウロガードの高さの問題が解決できるのではないかと思います。（ウロガードは逆流防止弁機能のあるものを使用が前提です）